

第96回 令和7年10月3日（金）

言葉の難しさについて。

私は口数が多いほうではありません。話をするのが苦手なわけではなく、毎日文章を書いているわけですから話したいことは結構あります。

言葉の持つ難しさは常に感じています。これを話したら相手はどう感じるだろうと考えながら慎重に言葉を選んでいきます。それでも「あのときあんなこと言わなければよかった」と思うことはしばしばあります。

ましてSNSで全世界に発信するなんて怖くてできません。自分の意図しているようにうまく言葉が解釈されるのか、ものすごく不安です。

JICAがホームタウン宣言で大炎上して撤回した事件がありました。おそらくJICAは姉妹都市よりもさらに軽い意味で、いつでも第2の故郷だと思って遊びに来てくださいくらいの感覚だったのではないのでしょうか。

それが移民政策を進めるスローガンのように思われ、以後は誤解をいくら説明しても鎮火しませんでした。

「ことばしっかり使えよ。人間だろ」と猫がしゃべるCMがありました。本当に共感できます。

「うざ」とか「やば」とか「きも」とか「微妙」で全部片づけようとする人がいます。これはすべて自分の感情を表現している言葉だと思います。心の中のホンネの部分です。

感情の表現は時として相手にきつくなることがあります。一緒にいる相手に「つまらないから早く帰りたい」と感じていたとしてもなかなかそれを直接は言えないと思います。プレゼントをもらって「これ、本当につまらないものだよね」というホンネも言えません。

感情をコントロールすることは本当に難しいので、心で思うことは仕方ありません。でもそれを外に出すかどうか、いままで人間はとても賢く考えて立ち回っていました。

それなのになぜか「うざ」とか「やば」とか「きも」とか「微妙」は瞬間的に、簡単に飛び出します。そして言われたほうは大抵傷つきます。相手のホンネがミサイルのように突き刺さってきます。

すれ違った若者に「やば」と小声で言われたことがあります。もしかしたら私に言ったわけではないかもしれない。それでも「自分は何かおかしいのかな」と気になります。

「ことばしっかり使えよ。人間だろ」と言いたくなります。